**レッスン: 2"A"**

**テーマ:真理･生命･人間の形而上学的側面**

**TRUTHL2. EN/DOC**

私達の兄弟･姉妹であり､スピリット･光･火の子供たちへ｡私たちは常に神､絶対､神の神聖さの中にいます｡

　今日の迷路のような混乱､混沌とした巨大なストレス､不確かな未来の中で人間は奮闘し,また苦悩しています｡

技術も発達し､多くの分野で驚くべき征服を成し遂げ､宇宙を征服するという夢も実現しつつあり、すべての病気を征服するという夢も実現まじかのように見え､さらにあらゆる科学分野での飛躍的な進歩にもかかわらず､人間は悩み､自分自身のみならず、周囲の社会や自分の国の不確かな未来というストレスの下で生きています｡なぜでしょうか?　なぜならば､混乱と不確かさは自分自身の態度､行動の結果だからです｡人間自身が作りだした状況が不快なひとつの驚きから次の驚きへと人間を導き､その結果､人間自身の価値観と行動がひっくり返ってしまうからです｡

　それによって､毎日目にしているように家族は解体し、社会は混沌とした無政府状態に

陥り､集団自殺なども発生し､様々な国全体が互いに破壊しあうようになります｡

　いつ､これらすべてが起こるのでしょうか?科学の発達によってあらゆる科学分野､及

びファンタジーの分野においてさえ新たな無限の可能性が開かれたと考え、人間が倣慢に

なった時です｡

それにもかかわらず､未だに人間は自分自身の管理､言い換えれば､自分自身に興味を

抱き､本当の自己を理解し､欲望･行動を手なずけ､コントロールしようとしません｡それらは賢明な思考の産物であり､正しい想念の結果得られるものです。

　ある日、それが可能となっても、依然としてそうなのでしょうか?　不確かさ、ストレス､

破壊などがない人生など考えられないのでしょうか? “Life”という意味のもとにおいて

もそうなのでしょうか?人間はエゴと真理に対する無知ゆえに、Lifeを時間と空間に縛られた狭くて価値のない枠の中に入れてしまっています｡その結果、Life、生の意味は誕生と死という二つの点によって定められてしまいました｡

　それとも､人間がエゴから解放されるようになった時､Life、生とはそのような狭くて価値

のない意味に限られるものでないことがわかるのでしょうか?人間が一瞬でも深く考えて､

自然と宇宙にそのような調和と愛を与えている不動の正しい法則を伴った自然の偉大さ

に目を向けさえすれば可能となるでしょう｡

　その時､人間は本来の自己に気づき､時間と空間という枠の中の生命現象と､真理と愛

の｢本来の生｣を区別できるようになるでしょう｡

Life、生はあらゆる所､宇宙全体に遍在し､宇宙は愛そのものである生それ自体によって

維持され､存在していると確信するようになるでしょう｡それならば､なぜ人間はこんな

にエゴイストで､この小さな地球上にのみ生命は存在し､他の無数の星には生命は存在し

ないと信じたがっているのでしょうか?

非常に長いあいだ信じられてきた信念に反して、今日の科学者は既知の物質を越えたところに別の形態の物質が存在することを発見し､非常に精妙な道具でそれを確認し､写真

に捕らえようとしています｡彼らはそれを反物質と名付けました｡

　自分たちの研究結果に確信を抱き､科学者たちは超心理学､オールターナティブ･メデ

ィスン(\*代替医療)などを大学で研究するようになりました｡　今､人間がやっと認めるようになった物質を越えたもの、反物質は遠い永劫の昔から未知の物質だったのでしょうか?

　勿論そうではありません！ギリシャ、エジプトその他の地域における古代の神秘学校で教えていたものが物質でないとしたら､何を対象としていたのでしょうか?

　既知の物質､つまり粗雑な物質を研究していたのでしょうか?それとも､いわゆる人間

のサイキカルな体、ノエティカルな体の霊的物質を研究していたのでしょうか?そうです!　だから､デルファイの神託､エレウシス(\*古代ギリシャの地名)の神秘学校､ピタゴラス派、プラトンの哲学などは全て魂の不滅を扱っていたのです｡

　しかし、人間に関するこの様な真摯な研究は過去のものとなり､時代の挨に埋もれてし

まっているのでしょうか?とんでもありません!　現在､世界中に人間･創造に関する真理を探求しているグループがあります｡勿論､無責任な霊能者､金儲けが目的の催眠術師､その他何であれパワーと賞賛を欲する人々のことを言っているのではありません｡真剣に真理の探求をしている人々を指しています｡この探求は真理の探求者による責任の下に行われています｡

各人の成長が究極の目的であり願望です｡成長の結果、その起源ゆえに本来あらゆる人間に固有のものとして秘められていたにもかかわらず、それまで気付かなかったパワーが生じてくるのです｡

　これらのパワーはそれを見せびらかして他の人々を混乱させるために生じるのではなく､同胞の人間に奉仕し､助けるためにあるのです｡

パワーという言葉で､千里眼､超聴覚､幽体離脱などだけを意味しているのではなく、

人間が未だに疑いの目を向けているサイコセラピー(\*精神療法)をも含みます｡サイコセラピーは現実に存在しており、いい加減なものではありません｡現代医学では治療不可能とされたものがサイコセラピーで治った例が沢山あります｡この神の偉大な技を前にして､医師たちは発する言葉もなく､ただ頭を下さげるのみといっても言い過ぎではありません｡テレパシーという現象さえ､真理の探究者にとっては現象というよりむしろ現実であり､既知の粗雑な物質よりも大きな現実となっています｡

　これでも、人間にテレパシーという事実の超構造を深く調べさせるのに不十分なのでし

ょうか?　十分に信用を得ている心理学者、別の世界･サイキックな世界の光景やピジョンを覚えている無数の人々､臨死体験をした人々｡科学者にとって､これらはたとえ警戒と疑いの念を抱きながらでも､死という現象は人生の終わりを意味しないという事実を受け入れるには不十分なのでしょうか?

　現代及び遠い過去におけるUFOの飛来を､事実として受け入れる人もいれば拒絶する人もいますが､そのようなジレンマによって､生命とは何か､人間とは何かについて真剣に

深く考えるようにならないでしょうか?

　そうすれば､エゴイズムから解放された人間は､体験を通じて本当の自己に目覚め、本

来のLife、生が自分の源であり、戻るべき目的地であることが理解できるでしょう｡

　その結果､疑いもなく､人間は愛をもって自らの思考と行動を同胞である他の人聞及び

自分自身に向けるようになるでしょう｡

　本当に不思議なことですが､私たち現在の人間は自分自身から愛を剥奪しているのです｡おそらく､本来私たちが何であるかという真理を知らないがゆえに､個人として､集団として､また社会システムとして､国全体として無知の奴隷･犠牲者になってしまっているのです｡無知の奴隷､物質および価値のないスローガンの奴隷に成り下がっているのです｡

　そうではなく､人間は物質に惑わされることなしに､物質を楽しめるようになるべきで

す｡なぜなら､物質の背後には真理､価値､不滅､永劫といった､比較できないほど美しいものが存在しているからです｡本当の生命の内に､そして時間･空間の意味を越えた所には､疑いもなくあらゆる人間を照らす光があるのです｡この光はあらゆる人に正しい思考方向を指し示し､その結果人間は同胞の人間に悪とか破壊をもたらさなくなるのです｡

そこで初めて､この地球上にストレスと不安に満ちた地獄ではなく､愛と幸福に満ちた本当の天国が創造可能となるのです｡

　その時､ピタゴラス学校の外側､デルファイの神託の外側にエピグラムとして書かれて

いる次の言葉の深い意味が理解できるかもしれません・・・ ｢汝自身を知れ､そうすれば宇宙を知ることができよう｣

**真理の探究者の約束**

私は以下のことを約束します:

1. 私は神、絶対存在に奉仕し、常に、いかなる所でも全身全霊を傾けて神、絶対存在に

属するものとなります。

2. 常に、いかなる所でも神の計画に奉仕する用意ができています。

3. 想念と言葉という神の贈り物を、常に、あらゆる所で、いかなる状況においても、良

い事にのみ用います。

4. 神の法則により私に必要なものとして与えられるあらゆる試練と苦難を、忍耐をもって文句を言わずに耐えてゆきます。

5. 私に対する態度がどのようなものであれ、同胞である人間を心と魂の心底から愛し、

奉仕します。

6. 想念、願望、行為を神の意思に完全に調和させるために、毎目、神、絶対存在を瞑想

し、黙考します。

7. 一日の終わりに、私が放った想念、願望、言葉、行為をそれらの動機と共に振り返り、

それらが神の法則に完全に調和するものであったかどうかを吟味します。

常に光と神の愛の中を歩むことができますように

エレブナは真理探求のための非営利の団体です。